

個 別 事 業 計 画 書

所管部署：教育委員会 社会教育課

(単位:千円)

事業名	青少年自然文化体験活動	細事業名	新継区分	継続事業		
総合振興計画の位置づけ	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	根拠法令等	社会教育法			
	3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる		京のわくわく探検事業実施委託要項			
	(4)スポーツ・レクリエーション活動の振興					
事業計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 25 年度	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	青少年犯罪が増加している現在、障がいのある児童と健常者が共に自然体験を通じ、協調性・連帯感を高め、自己の良さや価値を見直し、自尊感情を高めることが必要とされている。	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成22年度 予算現額		456	
			平成23年度	文化自然活動 自然体験学習	青少年の健全育成と障がいや障がいのある人の理解を深めること。 休日や長期休暇等に季節に応じた事業(年間10回程度)の実施。	620
			平成24年度	文化自然活動 自然体験学習	青少年の健全育成と障がいや障がいのある人の理解を深めること。 休日や長期休暇等に季節に応じた事業(年間10回程度)の実施。	620
			平成25年度	文化自然活動 自然体験学習	青少年の健全育成と障がいや障がいのある人の理解を深めること。 休日や長期休暇等に季節に応じた事業(年間10回程度)の実施。	620
具体的な実施内容	市内在住の児童(障がいのある児童を含む)に対し、休日や長期休暇中に、広く地域の人たちや他の子どもたちと交流する中で、様々な体験ができる機会を提供する。					
事業の目的	青少年の健全育成と障がいや障がいのある人の理解を深めること。					
事業の効果	自然体験の中で自分の五感を働かせながら、体全体で協調性や思いやり、忍耐力、表現力を養う。					